

仮処分命令申立書

令和●年●月●日

東京地方裁判所●部御中

債権者代理人弁護士 ●

当事者の表示…………… 別紙当事者目録に記載

被保全権利…………… 人格権侵害差止請求権、発信者情報開示請求権

第1 申立の趣旨

- 1 債務者は、別紙投稿記事目録記載の投稿記事を仮に削除せよ
- 2 債務者は、債権者に対し、別紙発信者情報目録記載の各情報を仮に開示せよとの裁判を求める。

第2 申立の理由

1 本件投稿

インターネットのサイト「●」（以下「本件サイト」という）では、氏名不詳者により別紙投稿記事目録記載の投稿記事（以下「本件投稿」という）が公開された（甲●）。

2 人格権侵害差止請求権

(1) 人格権侵害

本件投稿は、別紙権利侵害の説明記載のとおり、債権者の人格権を違法に侵害する（甲●）。

債務者は本件サイトを管理・運営しており（甲●）、客観的には債務者が債権者の人格権を侵害していると評価できる。

(2) 小括

したがって、債権者は債務者に対し、人格権侵害差止請求権を有する。

3 発信者情報開示請求権

(1) 特定電気通信

本件サイトの投稿は不特定の者により受信されるため、投稿行為は特定電気通信役務提供者の損害賠償責任の制限及び発信者情報の開示に関する法律（以下「法」という）2条1号の「特定電気通信」であり、本件サイトの蔵置されたサーバーコンピュータは法2条2号の「特定電気通信設備」である。

(2) 特定電気通信役務提供者

債務者は本件サイトを管理・運営しており（甲●）、法2条3号、5条1項の「特定電気通信役務提供者」に該当する。

(3) 権利侵害の明白性

本件投稿により、別紙権利侵害の説明記載のとおり、債権者の「権利が侵害されたことが明らか」である（法5条1項1号、甲●）。

(4) 正当な理由

債権者は発信者に対し、損害賠償請求等を予定しており、発信者情報の「開示を受けるべき正当な理由」がある（法5条1項2号）。

(5) 発信者情報の保有

債務者は、投稿の記録として、別紙発信者情報目録記載の各情報を保有している。

(6) 小括

したがって、債権者は債務者に対し、法5条1項の発信者情報開示請求権を有する。

4 保全の必要性

(1) 削除されない場合の被害拡大の危険

本件投稿はインターネットで常に公開されており、時間の経過により、閲

覧される機会が増え、人格権侵害の被害が拡大する。

(2) IP アドレスの早期開示の必要性

投稿者を特定するには、債務者が保有する情報では足りず、接続プロバイダに対する発信者情報開示請求が必要となる。

ところが、接続プロバイダの通信記録の保存期間は、多くは3～6か月程度のため（甲●）、債権者が債務者に対し IP アドレス開示請求の本案訴訟を提起しても、請求認容時には、接続プロバイダの通信記録は削除されている可能性が高い。

(3) 小括

したがって、インターネットでの閲覧の機会を減らすため仮に削除を求めておく必要があるとともに、投稿者に対する権利行使ができなくなる事態を防ぐため、発信者情報の開示を仮に求めておく必要がある。

以上

疎明方法

証拠説明書に記載

添付資料

- 1 甲号証写し 各 1 通
- 2 証拠説明書 1 通
- 3 委任状 1 通
- 4 資格証明書 ●通

(別紙) 当事者目録

〒●

債権者

●

〒●

●法律事務所 (送達場所)

電話 ● F A X ●

債権者代理人弁護士

●

〒●

債務者

●

上記代表者代表取締役

●

(別紙) 発信者情報目録

別紙投稿記事目録記載の投稿記事が投稿された際の下記情報

- 1 投稿者の使用した IP アドレス及びこれと関連付けられたポート番号
- 2 前項の IP アドレスを割り当てられた電気通信設備から債務者の用いる特定電気通信設備に投稿記事が送信された年月日及び時刻 (時分秒)
- 3 前項の特定電気通信設備に割り当てられた IP アドレス

(別紙) 投稿記事目録

| | |
|---------|--|
| 閲覧用 URL | |
| 投稿番号 | |
| 投稿者名 | |
| 投稿日時 | |
| 投稿内容 | |

(別紙) 権利侵害の説明

以上

